

火は発生せず、同日 11 時頃には沈降に転じ、元の状態に戻った。6 月 8 日 07 時頃から新燃岳側がわずかに隆起する変化が観測されていたが、噴火は発生せず、翌 9 日 01 時 28 分の火山性微動発生後に、沈降に転じ、隆起変化以前の状態に戻った。6 月 13 日 12 時頃から新燃岳側がわずかに隆起する変化が観測されていたが、噴火は発生せず、翌 14 日 05 時頃に沈降に転じた。6 月 14 日 22 時頃から再び隆起の変化が観測されていたが、6 月 16 日 18 時 05 分の噴火に伴い緩やかに沈降に転じ、隆起変化以前の状態に戻った。6 月 22 日 02 時頃から新燃岳側がわずかに隆起する変化が観測されていたが、翌 23 日 20 時 49 分の噴火に伴い沈降に転じ、隆起変化以前の状態に戻った。6 月 28 日 02 時頃から新燃岳側がわずかに隆起する変化が観測されていたが、翌 29 日 10 時 27 分の噴火発生とともに沈降に転じ、隆起以前の状態に戻った。

桜島 (31°34'38"N, 130°39'32"E (南岳))

昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が 5 月は 113 回 (そのうち爆発的噴火は 76 回)、6 月は 45 回 (そのうち爆発的噴火は 25 回) と活発な状態で経過した。これらの噴火に伴い、最も遠くまで飛散した大きな噴石は 4 合目 (昭和火口から 800m~1,300m) まで達した。6 月 5 日 23 時 36 分の爆発的噴火では、昭和火口から東へ約 400m 流下するごく小規模な火砕流が観測された。

南岳山頂火口では、噴火は発生しなかった。

5 月 31 日午前、海上自衛隊第 72 航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て行った上空からの調査では、昭和火口の火口底に新たに上昇してきたとみられる溶岩が確認され、溶岩の中央部には赤熱した領域が認められた。赤外線映像装置による観測でも、今回確認した溶岩に対応した部分に高温の領域が認められる。溶岩の直径は 50~60 m で、昭和火口で確認されたのは初めてであった。前回火口底が確認できた 2010 年 9 月 14 日には溶岩はなかったが、昭和火口では以前にも比較的明るい火映が発生し、爆発的噴火が頻発する等、溶岩が火口底付近まで上昇していたと考えられる。今回確認された溶岩は少量であり、現在、噴出物量や地殻変動に特段の変化はないことから、大量のマグマが桜島直下に移動した可能性は低く、ただちに火口外に溶岩を流出することはないものと考えられる。

COMPUSS を用いたトラバース法による火山ガス観測 (期間中 4 回実施) では、一日あたり 800~1,200 トンとやや多い状態であった。

気象庁が桜島島内で行っている GPS 連続観測では、浦之前を含む基線とわずかに収縮する傾向が見られる。有村観測坑道の水管傾斜計 (大隅河川国道事務所設置)

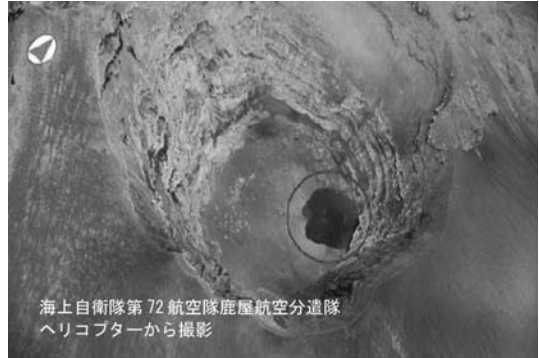


図 4. 桜島 昭和火口内の状況 (2011 年 5 月 31 日) 火口底に溶岩 (図中丸棒) が上昇している様子が認められた。また、溶岩中央部に赤熱した部分が認められた。

では、特段の変化は認められなかった。また、国土地理院による GPS 連続観測では、始良カルデラ (鹿児島湾奥部) の膨張による長期的な伸びの傾向がみられる。

鹿児島県の降灰量観測データをもとに解析した降灰量は、2011 年 4 月は 37 万トン、2011 年 5 月は 31 万トンであった。

薩摩硫黄島 (30°47'35"N, 130°18'19"E (硫黄岳))

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過した。火山性地震は、少ない状態で経過した。

振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が 5 月に 1 回、6 月に 1 回発生した。

諏訪之瀬島 (29°38'18"N, 129°42'50"E (御岳))

御岳火口では、5 月 3 日に爆発的噴火を含む噴火が 1 回発生した。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

(お知らせ) 最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

(文責：気象庁地震火山部火山課 岡垣晶子)

○人事公募

【東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター】

火山噴火予知観測研究部 助教 公募要項

1. 募集人員：助教 1 名

2. 所 属：大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター
火山噴火予知観測研究部
3. 研究内容等：火山噴火予知の実現をめざし、観測・実験・数値計算・データ解析等に基づいて、火山現象や火山噴火に至る過程の解明等の基礎的研究に従事する。なお、東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻ならびに理学部宇宙地球物理学科の教育も担当する。
4. 応募資格：博士の学位を有し、研究・教育への情熱と優れた業績を有する者。国籍は問わないが、日常的に日本語が使えることが望まれる。
5. 着任時期：2011年11月1日以降のできるだけ早い時期。
6. 提出書類：(1) 履歴書
(2) 研究業績リスト（「査読あり」および「査読なし」に区分けた論文、著書等の一覧表）
(3) 主要論文5編の別刷りまたはコピー
(4) 研究業績の概要（A4用紙2枚以内）
(5) 着任後の研究・教育の計画・抱負（A4用紙2枚以内）
(6) 自薦の場合は、応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先
(7) 他薦の場合は、推薦書の他に上記事項(1)~(5)の概要がわかる書類
7. 応募締切：2011年8月31日（水）（必着）
紛失事故を避けるため、必ず書留で郵送して下さい。封筒には「教員応募書類」と朱書きして下さい。応募書類は返却しません。
8. 書類提出先：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号
東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター
海野徳仁
電話：022-225-1950 / FAX：022-264-3292
E-mail：umino at aob.gp.tohoku.ac.jp
（「at」を「@」に読み替えてください）
9. その他：東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センターについては、下記の概要と当センターのホームページ（<http://www.aob.gp.tohoku.ac.jp/>）を参照して下さい。
- （上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月5日送信しました）

【東工大地球惑星科学専攻】

(内容)

募集人員 地球惑星科学専攻 専任助教 1名（任期5年，再任1回可3年）

専門分野：宇宙化学，地球化学

- (1) 試料分析，室内実験，データ解析等，実証的手法に基づき教育研究を行う方
- (2) 自分の専門分野だけでなく本専攻の他分野にも広く関心を持ち，他研究室との共同研究に積極的に取り組む方
- (3) 大学院・学部の教育研究を通して次世代研究者育成に意欲的に取り組む方

なお，再任の場合は規則に基づく審査があります。

応募資格

博士学位を有する方，あるいは平成23年10月までに博士学位取得見込みの方

着任時期

採用決定後，できるだけ早い時期を希望します。

提出書類 (1) 履歴書（市販のもので可）。

(2) これまでの研究・教育の実績（1,200字程度）

(3) 今後の研究・教育の計画・抱負（1,200字程度）

(4) 研究業績リスト

A. 査読付き原著論文

B. プロシーディングス，総説など

C. 著書，その他特記すべき出版物

注：A, B, Cいずれも和文のものは和文で表記すること。

(5) 主な原著論文の別刷（コピー可）3編以内

(6) 応募者について参考意見をうかがえる方（2名）の氏名及び連絡先（所属，住所，E-mail）

(7) 応募書類は返却いたしません。こちらで責任を持って処分させていただきます。

応募締切：2011年9月30日（金）必着

宅配便にて送付願います。

本専攻教員等：こちらをご覧ください

→ <http://www.geo.titech.ac.jp/>

提出書類の送付先

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 I2-20

東京工業大学大学院理工学研究科 地球惑星科学専攻 209号室

専攻秘書室気付 横山哲也 宛

tel：03-5734-2339

問い合わせ先

横山哲也 E-mail : tetsuya.yoko (at) geo.titech.ac.jp
(at を @ に変えてご送信ください)

Tel : 03-5734-3539

HP : <http://www.geo.titech.ac.jp/koubo/koubo2011/jokyochika/jokyochika201109.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月19日送信しました)

【東北大学大学院理学研究科地学専攻】

募集人員 教授1名

所属講座 地学専攻, 地球惑星物質科学講座

募集分野 地学専攻, 地球惑星物質科学科における地質流体, 火山噴火ダイナミクスや火山岩の研究と教育を中心となって推進し, 地学専攻内や他専攻・他研究科等, 学内外の研究者と協力しながら, 国際的な場で積極的に活動し, グローバルCOE等の推進にご尽力頂ける方. 大型外部資金獲得に実績があり積極的な方. 先端的な研究分野において博士課程大学院生を指導し, 若手研究者を世界に送りだすとに注力頂ける方が望ましい.

担当科目 理学研究科・理学部と全学における地球惑星物質科学科関係の講義・演習・室内実習・野外実習等

応募資格 博士の学位を有する者

着任予定 決定後のなるべく早い時期

- 提出書類
1. 履歴書(写真貼付, 連絡先明記のこと)
 2. 研究業績リスト
 - (1) 論文(査読の有無を記すこと)
 - (2) 著書 (3) その他
 3. 主要論文10編の別刷り各1部(コピー可)
 4. 在外研究歴・研究教育に関する受賞歴・外部資金獲得実績リスト
 5. これまでの教育・学生指導・研究実績の概要(2000字程度)
 6. 着任後の教育・研究に関する抱負(2000字程度)
 7. 照会可能者2名の氏名と連絡先

応募締切日 平成23年9月9日(金) 必着

書類送付先 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
東北大学大学院理学研究科地学専攻事務室宛

応募書類送付に際しては, 封筒表面に「教員応募書類在中」と朱書き, 簡易書留郵便にすること. 応募書類は原則返却致しません. また, 審査において面接を行う場合,

交通費は応募者の負担とします.

照会先 東北大学大学院理学研究科地学専攻, 専攻長 長濱裕幸

電話 022-795-6673, FAX 022-795-6675,

e-mail : h-nagahama@m.tohoku.ac.jp

その他 地学専攻はグローバルCOE「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」を推進しています.
(URL : <http://www.gcoe.es.tohoku.ac.jp/>)

当該講座を含む地学専攻, 地球惑星物質科学科の構成員と研究内容は, 下記のURLをご参照下さい

(URL : <http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/index.html>).

なお, 東北大学理学研究科では男女共同参画を推進しています.

URL : <http://www.sci.tohoku.ac.jp/gender/> をご覧下さい

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月2日送信しました)

○第32回猿橋賞募集のご案内

【女性科学者に明るい未来をの会】

- 1) 対象 : 推薦締切日に50才未満で, 自然科学の分野で, 「創立の主旨に沿った」優れた研究業績を収めている女性科学者
- 2) 表彰内容 : 賞状, 副賞として賞金30万円, 1件(1名)
- 3) 応募方法 : 当会のホームページ <http://www.sarushashi.net/> から推薦書類をダウンロードし, A4用紙に印刷して, ①推薦者(個人・団体, 自薦も可)・受賞候補者の略歴・推薦対象となる研究題目 ②推薦理由(800字程度), 及び ③研究題目に関連する主な業績リスト(指定は1頁です. やむを得ない場合でも追加は1頁までです)を記入して, 主な論文別刷り5編程度(2部ずつ, コピーも可)を添え, 5)の推薦書類送付先までお送り下さい.
- 4) 締切日 : 2011年11月30日(必着)
- 5) 推薦書類送付先 : 〒247-0022 横浜市栄区庄戸5-14-3
女性科学者に明るい未来をの会
(封筒には, 「猿橋賞推薦書類」と明記して下さい. 書類は, 猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます. 書類は返却いたしませんのでご了承下さい)

今後, 募集要項に変更がある場合は, ホームページに掲載いたしますので, 応募の際はホームページをご確認下さい.

なお, この件についての問い合わせは, 下記に電子メールでお願いいたします.

saruhashi2011@saruhashi.net

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月14日送信しました)

○【J-DESC コアスクール：岩石コア記載技術コースのご案内】

昨年度3月の震災により延期していた岩石コア記載技術コースの再募集を行います。

なお、前回申し込まれた方も再度の登録をお願いいたします。

実施目的：

本コースは、産業技術総合研究所地質調査総合センターのコアライブラリーに保管されている各種岩石コアを使いその記載手法を実践的に解説する実習型スクールです。

本コースでは、特に大学カリキュラムでは体系的に学ぶ機会のない火山岩・深成岩・変成岩などの岩石コアの岩相記載の方法や構造解析に関する記載の方法などについて、レクチャーと実習を通じて理解し実体験することを目的としています。

今年度は火山岩コアに焦点を絞り、火山岩の産状に関する一般論、火山岩の岩相記載法、岩相解析による山体形成・噴火機構の解析法など火山岩コアを現場で扱う上で必須となる技術の習得を目的としています。実習には全国の火山観測を目的に掘削されたコアを用い、講師陣は実際にコアを記載した産総研研究者が務めます。本スクールの実施は、地球掘削科学を支える若手研究者および技術者の育成・底辺の拡大、IODP・ICDPの普及・啓蒙に大いに寄与することとなると期待されます。

実施日程：2011年8月22日(月)～8月24日(水)

実施場所：産業技術総合研究所第7事業所(〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1中央第7)

共 催：独立行政法人産業技術総合研究所

世 話 人：山元孝広

(産業技術総合研究所地質情報研究部門)

講師(予定)：

山元孝広 産業技術総合研究所地質情報研究部門
伊藤順一 産業技術総合研究所地質情報研究部門
ほか数名

レクチャー内容：

火山岩の産状に関する一般論

火山岩の岩相記載法

岩相解析による山体形成・噴火機構の解析法など

実習内容：火山岩コア試料の岩相記載

成果物(予定)：レクチャーノート

申し込み方法：オンライン申込

募集人数：15名(先着順)

申込〆切：2011年7月22日(金)先着順

学生参加の補助：J-DESC 会員機関所属の学生を対象に、J-DESC から旅費の補助があります。

なお、本レクチャーコースに関する詳細・申込方法・学生補助に関しては下記およびそのリンク先をご覧ください

<http://www.j-desc.org/modules/tiny3/rewrite/cor-eschool/ganseki.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月15日送信しました)

○「朝日賞」候補者推薦のお願い

【朝日新聞文化財団】

「朝日賞」は、1929(昭和4)年に朝日新聞社が創刊50周年を記念して創設したものです。

人文や自然科学など、わが国のさまざまな分野において傑出した業績をあげ、文化、社会の発展、向上に多大な貢献をされた個人または団体にお贈りしております。

広く各界の皆様から候補者のご推薦を頂戴したあと、さらに幅広くご意見を伺ったうえ、朝日賞選考委員会できちんと審議し、受賞者を決定いたします。」

会員の方で、推薦する方がございましたら、8月20日までに日本火山学会事務局にお知らせください。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月4日送信しました)

○山田科学振興財団 研究援助のご案内(締切：平成24年1月31日)

援助対象 自然科学の基礎的分野に対して重要かつ独創的な研究に従事する研究者

助成金の内容 1件 100～500万円 総額3000万円
(15件程度、原則2年)

援助対象期間 2012年9月～2014年3月に行われる研究

締 切 日 平成24年1月31日

応募方法 援助内容および応募の詳細は山田科学振興財団のホームページ

<http://www.yamadazaidan.jp/enjoyo2.html>

を参照してください。

応募には所属学会の推薦が必須です。上記締切日は火山学会推薦の締切日です。

応募希望者は、山田科学振興財団のホームページから推薦書用紙をダウンロードし、「学会推薦欄」を除く各欄に必要な事項を記載してください。

必要書類(推薦書と添付書類)を紙媒体と電

子媒体（CD または USB メモリ）の両者で作成してください。

紙媒体の書類を火山学会宛に、電子媒体の書類を山田科学振興財団宛てにお送り下さい。

火山学会では上位 2 件を推薦します。

書類送付先

紙媒体

特定非営利活動法人 日本火山学会

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-2-9 モンテベルデ
第 2 東大前 406 号

電子媒体（CD または USB メモリ）

公益財団法人 山田科学振興財団

〒544-8666 大阪市生野区巽西 1 丁目 8 番 1 号

電話 大阪 (06) 6758-3745 (代表)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 9 月 5 日送信しました)

○平成 23 年度「みらい」航海 (MR11-08) の追加公募について (海洋研究開発機構)

独立行政法人海洋研究開発機構では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震とこれに伴う福島第 1 原発事故による海洋環境への影響を勘案し、弊機構が運航する海洋地球研究船「みらい」を用いた研究航海 (MR11-08) の観測海域を変更して、放射能に関する観測研究課題の追加公募を行います。

募集期間は平成 23 年 6 月 14 日 (火)～28 日 (火) です。

詳しくはウェブサイト (http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/maritec/2011_koubo/2011_mr11-08/) をご覧ください。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 15 日送信しました)

○平成 23 年度「よこすか」緊急航海 (YK11-E06) の課題募集について

【海洋研究開発機構】

独立行政法人海洋研究開発機構では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う海洋環境への影響を勘案し、「よこすか」緊急航海 (YK11-E06) における観測研究課題の募集を行います。

募集期間は平成 23 年 6 月 17 日 (金)～30 日 (木) です。詳しくはウェブサイト (http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/maritec/2011_koubo/2011_yokosuka_2/) をご覧ください。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 22 日送信しました)

○「科学技術に関する基本政策について」見直し案に関する意見募集

東日本大震災を受けて、内閣府では科学技術基本計画の見直し案を 6 月 14 日に作成し公表しました。これに関し「東北地方太平洋沖地震を受けて再検討すべき事項」に絞って意見募集がなされています。

最近の火山灰の拡散による航空機被害は当然ながらも、来るべき大規模な火山噴火によっては、今度の震災に匹敵するか、場合によってはそれ以上の多くの国民が災害を受けることもありえます。この機会に、発生が低頻度の大規模自然災害の中に火山噴火が含まれるということ国民や政策担当官に十分理解してもらうことが重要かと思えます。

火山学会員各位におかれましては、この見直し案について可能な範囲で意見提出をお願いできればと思います。意見募集は 6 月 26 日までです。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0020.html>

日本火山学会長 中田節也

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 17 日送信しました)

○第 1 回アジア太平洋巨大地震・火山噴火リスク対策ワークショップ開催のお知らせ

1. 開催事業名：第 1 回アジア太平洋巨大地震・火山噴火リスク対策ワークショップ
2. 開催時期：平成 24 年 2 月 22 日 (水) から 25 日 (土)
ワークショップ：2 月 22 日 (水)～24 日 (金)、巡検：2 月 24 日 (金)～25 日 (土)
3. 開催場所：産業技術総合研究所つくば中央共用講堂
4. 連絡先

〒305-8567 つくば市東 1-1-1 中央第七

独立行政法人 産業技術総合研究所 地質分野研究企画室 高橋 浩

電話 029-861-3635 FAX 029-856-4989

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 20 日送信しました)

○公開研究集会開催のお知らせ

京都大学防災研究所は拠点研究 (特別推進) として公開研究集会「開口型火道システムにおける火山噴火予知を考える」を実施いたします。本研究集会は、防災研究所一般研究集会 23K-04 「：桜島火山活動と能動的火山活動モニタリングの可能性」、地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」の火山噴火準備週、火山噴火過程部会と連携して開催されます。

研究会名開口型火道システムにおける火山噴火予知を考える

日時 平成 23 年 7 月 14 日 (木) 9:00-17:30

場所 桜島公民館 (鹿児島市桜島横山町)
鹿児島港から桜島フェリーで桜島港下船, 桜島港から徒歩 10 分

問い合わせ先

京都大学防災研究所火山活動研究センター 井口正人
iguchi@svo.dpri.kyoto-u.ac.jp

詳細は以下の防災研究所 HP を参照ください。

http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/web_j/contents/event_text/20110714.pdf

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 20 日送信しました)

○防災とリスクマネジメントセミナー

(～東日本大震災対応経験をリスクマネジメントの視点から考える～)

【財団法人 日本規格協会】

日時: 2011 年 7 月 20 日 (水) 13:25～16:45

会場: 日本青年館ホテル地下 1 階 中ホール (東京都新宿区霞ヶ丘町 7-1)

講演予定者 (敬称略): 林 春男 (京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授)

野口和彦 ((株)三菱総合研究所 研究理事)

参加料: 一般/8,925 円 (税込)

日本規格協会維持会員/7,875 円 (税込)

*詳細は, 下記のホームページ又は添付ご案内書をご覧ください。

http://www.jsa.or.jp/standard/meeting_02.asp?fn=risk_m.htm

【お申込方法】

別添ご案内書 2 ページ目お申込欄に必要事項をご記入の上,

FAX (No. 03-3583-0462) にてお申込みいただきますようお願い申し上げます。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 24 日送信しました)

○火山青年団プレゼンツ「コンピューター時代の火山地質 & 防災・超基礎からはじめるワークショップ」

【日程など】

●場所: 日本大学文理学部 (京王線桜上水または下高井戸下車徒歩 15 分)

●日時: 2011 年 8 月 29 日～31 日 午前 10 時～午後 4 時

●定員: 45 名

●講師: 佐々木寿@国際航業・宝田晋治@産総研・萬年一剛@神奈川温地研

●世話人: 金丸龍夫@日本大学

●対象: 学部 3 年生以上～現役の社会人で, 火山地質や火山防災の研究, 教育, 業務, 学習を行っている者

1 日目

GIS の基礎

ベクトルデータの扱い方演習

アイソバックの作成と面積算出

ラスターデータの使い方

DEM を利用した地形解析

フリーデータの利用

フリーデータの種類と入手

目的にあった加工

2 日目

降下火山灰シミュレーションソフト Tephra2 の基礎

Tephra2 による計算

計算結果の描画

GMT を用いた作図

QGIS を用いた作図とハザードマップとしての利用

3 日目

Geogrid の利用。

午後は, フリーディスカッション及びフリー作業 (各自の研究や業務で問題となっているテーマを持ち寄られることを歓迎します)

【参加の方法】

萬年 (mannen_kazutaka@mac.com) までメールで参加希望をお伝えください。Subject は【青年団 GIS 参加希望】とお書きください。参加希望は 7 月末まで受け付けます。参加希望者が多数の場合は抽選を実施します。参加の可否は 8 月初旬に通知します。全日程の参加が望ましいですが, 1 日だけの参加なども可能とします。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 7 月 14 日送信しました)

○「地殻流体研究会・サマースクール 2011」開催のお知らせ

【新学術領域研究「地殻流体」】

地殻流体研究会・サマースクール 2011

日程: 平成 23 年 9 月 17 日 (土) 午後 2 時頃～9 月 19 日 (月) 午後 1 時半頃

会場: 花巻南温泉峡 湯の杜ホテル志戸平

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平

Tel: 0198-25-2011

アクセス: 新花巻駅・いわて花巻空港からシャトルバスを運行予定

参加費用（予定）：

一般 35,000円（2泊6食と参加費10,000円を含む）

院生・学生 25,000円（2泊6食）

※研究会とサマースクールは同時開催です。サマースクールのみの参加はできません。

集会のプログラム、参加申込については、以下のサイトをご覧下さい：

<http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~kogiso-lab/hanamaki2011/>

お問い合わせ先：geofluid-hanamaki@gaia.h.kyoto-u.ac.jp

世話人：小木曾哲・平島崇男・川本竜彦・大井修吾（京都大学）

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月27日送信しました）

○IUGGでのIAVCEI2013ブースのご案内

火山学会会員各位

IUGG総会にて、日本火山学会が主催するIAVCEI2013年学術総会の宣伝をかねて、

下記の期間、鹿児島市が宣伝のための展示ブースを出します。

IUGGに参加される学会員は是非お立ち寄りください。

IAVCEI2013実行委員等で展示の当番を分担しておりますが、人数が十分ではありません。

常に複数の当番が分担するために、学会員には展示当番の補助も、お願い致します。

お手伝いいただける方は、直接展示ブースで声をかけて頂くか、篠原（shinohara-h@aist.go.jp）宛ご連絡お願いします。

場 所：ポスター会場横展示ブース 20番

時間帯：6/30 10:00-16:30

7/1-7/5 10:00-19:00

7/5 10:00-16:30

IAVCEI2013年学術総会実行委員会事務局 篠原

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月27日送信しました）

○IAVCEI2013案内

火山学会会員各位

2013年IAVCEI学術総会（鹿児島開催）まであと2年となり、1st circularを作成し、先月のオーストラリアでのIUGGでは、ブースを設けて、ポスターを掲示するとともに、印刷物を配布しました。

国内に向けては、経費節減のため、印刷物としての送付は行わず、下記のホームページにおいて、公開をして

おります。

<http://www.iavcei2013.com/>

随時、会議詳細等を掲載致しますので、ご覧下さい。

1. 開催時期：2013年7月20日（土）～7月24日（水）
2. 開催場所：鹿児島市県民交流センター他
3. 主催：日本火山学会、共催：IAVCEI、鹿児島県、鹿児島市

会議に関するお問い合わせは事務局、産総研、篠原（shinohara-h@aist.go.jp）までお送りください。

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月29日送信しました）

○国際会議セッション提案奨励事業の案内について

日本火山学会では「国際会議セッション提案奨励事業」を開始します。

本事業は国際学会へのセッション提案を奨励するために、若手研究者に渡航費用の補助を行うものです。セッション提案の活性化を通じて、国際学会における日本の火山学の認知度を高めると共に、世界の火山学における若手の先導的な活動を奨励することにより、日本の火山学の活性化を図ることを目的としています。

- ・渡航補助：1件あたり20万円以内
- ・件数：毎年最大2件
- ・募集時期：随時
- ・公募対象：海外で開催される火山学に関する国際学会において、採択されたシンポジウムやセッションの主提案者
- ・応募資格：日本火山学会会員であること
- ・選考方法：理事会の承認
- ・選考基準：若手（おおよそ40歳以下を目安）を優先
- ・申込方法：セッション採択後、日本火山学会事務局宛に連絡

氏名：

所属：

職名：

会議名：

開催期間：

開催場所：

採択セッション名：

同上コンビナー名：

渡航費用概算：

.....

ふるってのご応募をお待ちいたします。

なお、EGU-GA2012のセッション募集提案が開始されています。

<http://meetingorganizer.copernicus.org/EGU2012/provisionalprogramme>

こちらへのセッション提案もご検討ください。

よろしくお願ひいたします。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月12日送信しました)

○第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会ポスターセッション

今年の日本火山学会秋季大会の直前の9月29日～10月1日に、北海道洞爺湖町で第2回日本ジオパーク全国大会が開催されます。

日本全国のジオパークに関わる人々が一堂に集結して、取組発表や情報交換を行うイベントです。そのプログラムの中で、ジオパークでの観光、防災、教育、ガイド活動などの取り組みを発表するポスターセッションを実施いたします。(9月29日17:00～18:00はコアタイムとなっております。)

ポスター発表の申込締め切りは8月19日でしたが、まだ会場スペースに余裕があるため申し込み締め切りが9月9日まで延期されました。

ご興味のある方は、以下のホームページからポスターセッションの募集要項をダウンロード頂いて、発表要旨を所定の宛先までメール等でお送り頂ければ幸いです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【募集要項ダウンロード方法】

<http://www.toya-usu-geopark.org/> のページ内の「第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会」というバナーをクリックしてください。

ページ下段に「ポスターセッション募集要項(二次募集)」という欄がありますので、そこから要項をダウンロードしてください。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月25日送信しました)

○2011年日本火山学会秋季大会のお知らせ

日本火山学会2011年度秋季大会は北海道旭川市と共催で旭川市大雪クリスタルホールで行われます。火山学会として最北の開催地になります。旭川市の南東には大雪山・旭岳や十勝岳の活火山があり、大雪・トムラウシ・十勝火山群の山並みが市内から遠望できます。現地討論会では会期前に十勝岳、会期後に大雪山・白滝黒曜石を企画しました。

紅葉した北の大地で、旭川ラーメンやジンギスカンをはじめ、北海道の秋の味覚をお楽しみください。懇親会

は旭川地ビール館で行います。会場の近くには三浦綾子記念文学館があり、十勝岳大正泥流の火山災害を題材とした「泥流地帯」の資料があります。旭山動物園も市内にあります。多くの方のご参加をお待ちしております。

詳細は「火山」56巻2・3合併号に掲載されますが、最新の情報は大会ホームページをご覧ください。

<http://www.soc.nii.ac.jp/kazan/doc/kazan2011/index.html>

1. 期日

2011年10月2日(日)～4日(火)

10月2日(日) 午前 講演会・特別セッション
午後 講演会

10月3日(月) 午前 講演会 午後 講演会・記念講演会・懇親会

10月4日(火) 午前 講演会

9月30～10月1日 現地討論会(十勝岳)

10月4～5日 現地討論会(大雪山・白滝)

10月1日 公開講座「火山学者と火山を作ろう! マグマのおもしろ実験教室 in 旭川」

10月1日 午後 火山防災シンポジウム

2. 講演会場

旭川市大雪クリスタルホール

(〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目)

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/crystalhall/>

3. 参加料(講演予稿集込み)

会員:2,000円(学生・満70歳以上は半額) 非会員:4,000円

※予稿集のみの販売も同額になります。学会事務局にお申し込みください。

発行は9月中旬を予定しています。

※学部学生・高校生等の参加料は無料ですが、予稿集は別途購入してください(1,000円)

4. 講演申し込み・予稿原稿提出

http://www.soc.nii.ac.jp/kazan/doc/2011_fallmeeting_application.html

締切

郵送の場合(学会事務局着)

8月5日(金)

Web登録&予稿原稿PDFメール送信の場合

8月12日(金)午後4時

5. 秋季大会連絡先

〒070-8621 旭川市北門町9 北海道教育大学旭川校

2011年度秋季大会実行委員会 和田恵治委員

TEL/FAX:0166-59-1315

E-mail:kazan-taikai@yml.plala.or.jp

3. 特別セッションのお知らせ

今大会では、以下の特別セッションを開催します。詳細は大会ホームページをご覧ください。

●火山のジオパーク・火山防災と教育

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月30日送信しました)

○2011年日本火山学会秋季大会のお知らせ その2

2011年10月2日(日)~4日(火)に旭川市で開催される日本火山学会2011年度秋季大会についての追加情報です。

●講演申込受付中

現在発表申込を行っています。Web登録&予稿原稿PDFメール送信の場合は8月12日(金)午後4時^〆切となっていますので、忘れずにご投稿ください。

●ポスター会場での電源使用

今大会のポスター会場では、少量であれば電源の使用が可能です。発表時に電源が必要な場合は、必ず講演申し込みフォームの「講演についての要望」欄に「電源使用希望」の記載をお願いします。

●懇親会

事前申し込み受付中(9月8日(木)まで)

懇親会会場は大雪地ビール館(<http://www.ji-beer.com>)です(旭川駅から徒歩で約5分)。北海道の海の幸・山の幸を堪能できるとともに、北海道を代表する地ビールの1つ「大雪地ビール」や大雪山の水を使った「男山」などの日本酒も楽しんでいただけます。

懇親会に参加される方はE-mailで事前申し込みをお願いします。

参加費：一般5,500円(事前申込は5,000円)、学生3,500円(事前申込は3,000円)

申込先：和田恵治(北海道教育大学旭川校) wada.keiji@a.hokkyodai.ac.jp

氏名・所属・連絡先を明記し、メールの件名(タイトル名)に必ず【懇親会申込】としてください。

●現地討論会 申込受付中(8月12日(金)まで)

A：十勝岳(9/30-10/1)とB：大雪山・白滝(10/4-10/5)の2つのコースがあります。

申込方法：HPにある申込フォームにて希望のコースを明記して、以下の申込先に8月12日(金)までに申し込んで下さい。定員になり次第締め切ります。

E-mailで申し込む場合は、メールの件名(タイトル名)を【現地討論会申込】としてください。

申込先：〒070-8621 旭川市北門町9 北海道教育大学

旭川校 和田恵治

E-mail：wada.keiji@a.hokkyodai.ac.jp

詳細は大会ホームページをご覧ください。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/kazan/doc/kazan2011/index.html#excursion>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月19日送信しました)

○「学生優秀発表賞」のおしらせ

日本火山学会秋季大会では、学生の皆さんの学術発表に対して審査を行い、優秀な発表には「学生優秀発表賞」を授与することになりました。

対象は学生会員の発表(口頭・ポスター)です。エントリーは必要ありません。

審査基準・項目については、のちほどホームページで公開しますが、必ずしも研究の結果の優秀さを求めるものではなく、発表自体の質や完成度、皆さんの主体性などをバランスよく審査いたします。

学生の皆さんの積極的な発表を期待します。

なお、秋季大会の申込・予稿原稿締切は8月12日(金)午後4時までとなっています。例年締切直前に申込が殺到し、申込ページが混雑します。皆さまには早めの申込・投稿をお願いいたします。

日本火山学会秋季大会のページ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/kazan/doc/kazan2011/>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月2日送信しました)

○秋季大会プログラムの公開

日本火山学会の皆さま

10月2~4日に旭川市で開催される秋季大会には189件の講演申込がありました。皆さんの積極的な発表申込ありがとうございます。

プログラム編成委員会で検討の結果、大会ホームページにて暫定のプログラムを公開しました。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/kazan/doc/kazan2011/index.html>

正式版はpdfファイルにて配布する予定です。

大会期間は北海道の秋の観光シーズンと重なり交通・宿泊施設も混雑が予想されます。お早めのご予約をお勧めします。

また、3日夜に開催される懇親会の事前締切も迫っています。参加希望者は忘れずにお申し込みください。

●懇親会事前参加予約締め切り：9月8日(木)

●参加費：一般5,500円(事前申込は5,000円)、学生3,500円(事前申込は3,000円)

- 申込先：和田恵治（北海道教育大学旭川校）
wada.keiji@a.hokkyodai.ac.jp
- 氏名・所属・連絡先を明記し，メールの件名（タイトル名）を必ず【懇親会申込】としてください。
（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに9月2日送信しました）

○訃報のお知らせです

本会会員 長岡信治 様（長崎大学）が，ご逝去されました。

慎んでお悔やみ申し上げます。

なお，葬儀は下記のとおり執り行われます。

通 夜 2011年7月11日（月）19時

告別式 2011年7月12日（火）11時

喪 主 長岡明代 様（ご令室）

場 所 長崎県諫早市多良見団 425 たらみ斎場

電 話：0957-43-8128

日本火山学会

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月11日送信しました）